

提出順	2	発言順	2	令和 4 年 11 月 21 日
				(午前)・午後 9 時 41 分受領

( 2 枚中 No. 1 )

令和 4 年 11 月 21 日

(宛先) 安曇野市議会議員 平林 明

安曇野市議会議員 竹内 秀太郎

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 25 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	安曇野市の人口減少対策について		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

- 本市の将来人口は国立社会保障・人口問題研究所の人口推計に準拠していますが、本市の人口推計に当たり大きな特徴は何でしょうか。また、その特徴に注目して実施してきた施策と施策を実施した成果について教えてください。
- 令和 2 年 3 月に公表した安曇野市人口ビジョン、今回の第 2 次安曇野市総合計画 後期基本計画 (案) では令和 27 年 (2045 年) の人口目標を、合計特殊出生率の向上や子育て世帯の移住受入拡大による前提条件を改めて、目標人口を新たに設定しています。この前提条件は本市の最近の実績から見て高い確率で実現可能でしょうか、ご教授ください。
- 移住・定住について、松本広域圏、その他県内の 30 代から 40 代前半の転入超過が顕著であることから、行政の施策、努力以外の働きかけにより本市へ移住している方が多いという見方について伺う。移住・定住について、もっと効果的な施策が考えられないでしょうか。例えば、誘致活動は移住者を組織化し、趣味・仕事等によるグループ活動を通じて仲間を県内外から誘致する。市は移住者のアフターフォローにもっと力を入れる等々。
- 10 代後半と 20 代前半は進学による県外への転出が顕著。卒業後リターンする学生は少なく奨学金の返済を抱えて県外で働く人は多い。そこで、こうした人材の確保と若者定住促進を図るために奨学金返還補助金制度と新增生活定住促進支援事業を提案する。

提出順	2	発言順	2	令和 4 年 11 月 21 日
				(午前)午後 9 時 41 分受領

( 2 枚中No.2 )

令和 4 年 1 1 月 2 1 日

(宛先) 安曇野市議会議員 平林 明

安曇野市議会議員 竹内 秀太郎

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	安曇野市のフレイル予防対策事業について		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

1. フレイル予防 (介護予防) 事業の経費は保健給付 (介護給付) 費の何パーセント相当か伺う。
2. フレイル対象者の要因別割合について、9 月定例会一般質問で、担当部長は身体的フレイルが約 7 割と答弁しました。そこで、身体的フレイルに対する予防対策事業について伺う。
3. 健康ポイント事業について、9 月定例会で「歩行を楽しむ事業」を実施している山村自治体の様子を紹介したところ、担当部長は歩くというだけでは、フレイルの予防にならないと否定し、その方にあったそれぞれの健康方法を個別指導していきたいと答弁しました。本市の現在のマンパワーでフレイル対策全員に、それが出来るのかその内容について伺います。
4. 「増える老々介護」に対応するためにも、フレイル対策が重要と考えるがどう評価するか。本市の高齢者 1 人暮らしや老夫婦世帯の推移を伺う。在宅介護の世帯の主たる介護者は誰か。高齢者が主たる介護者である割合について、最近 5 年間の傾向を伺う。
5. 本日は八王子市の「てくポ」を紹介します。スマートフォンアプリを使って、歩く、食べる、脳トレ、社会参加などで脳と体の健康づくりを楽しく応援するポイント事業です。他自治体からの視察が多い「てくポ」を参考にした健康ポイント事業の取り組みについて伺う
6. 松本市は「市フレイル予防推進協議会」を開催しており、また、市と中部電力が関係企業と連携して AI によるフレイル判断に効果を上げています。市長のフレイル対策の決意を伺う。